

# Ⅲ 特別会計

## 競輪事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
競 輪 事 業	12,507,679,722	0	0	246,111,942	12,261,567,780

### 1 競輪開催事業費 3,121,429,290 円 (競輪事務所)

#### [総括]

昭和24年からスタートした競輪事業は、市民の身近な娯楽として親しまれているほか、公益財団法人JKAへの交付金等を通じて、機械工業の振興、体育事業をはじめとした公益の増進に寄与している。

平成26年度の勝者投票券売上金は、記念競輪で60億円を超えたことに加え、普通競輪でジャパンカップを開催したことなどにより、4年振りに120億円を上回ることができた。

単年度収支は、消費税率の引き上げが行われるなど厳しい状況のなか、収支改善を図るため普通競輪の節数減やナイター発売を含む場外発売を積極的に実施したことや、メインスタンド建設時の起債償還金の一部が完済したことなどにより、前年度比83.8%増の280,300,900円の収益を確保することができた。

主な事業としては、ファンへのサービス向上を目的に特別観覧席の座席改修を実施するとともに、ガールズケイリン育成プロジェクトにも積極的に取り組み、訓練生4名全員が日本競輪学校入校を果たした。

また、老朽化した施設等の整備に備え、新たに豊橋市競輪事業施設等整備基金を設置し、100,000,000円を積み立てた。これら安定した運営と業務の効率化に努めたことで一般会計へ20,000,000円を繰り出した。

依然として厳しい状況にある競輪事業だが、公営競技の目的である財政の健全化、公益の増進に貢献するため、さらなる収益の確保に努めていく。

#### [実績及び成果]

(市営競輪開催成績) (売上高) 12,155,298,100 円

区 分	平成25年度			平成26年度			比 較	
開 催 回 数	普通競輪	11回	17節	普通競輪	11回	16節	0.0%	△ 5.9%
	記念競輪	1	1	記念競輪	1	1	0.0	0.0
	計	12	18	計	12	17	0.0	△ 5.6
開 催 日 数	普通競輪	51日		普通競輪	48日		△ 5.9	
	記念競輪	4		記念競輪	4		0.0	
	計	55		計	52		△ 5.5	
入 場 者 数	普通競輪	延 40,735人		普通競輪	延 34,877人		△14.4	
	記念競輪	延 7,529		記念競輪	延 8,089		7.4	
	計	延 48,264		計	延 42,966		△11.0	
売 上 高	普通競輪	4,802,026,800円		普通競輪	6,044,131,100円		25.9	
	記念競輪	5,972,051,500		記念競輪	6,111,167,000		2.3	
	計	10,774,078,300		計	12,155,298,100		12.8	

### (1) 施設整備費 111,271,968 円

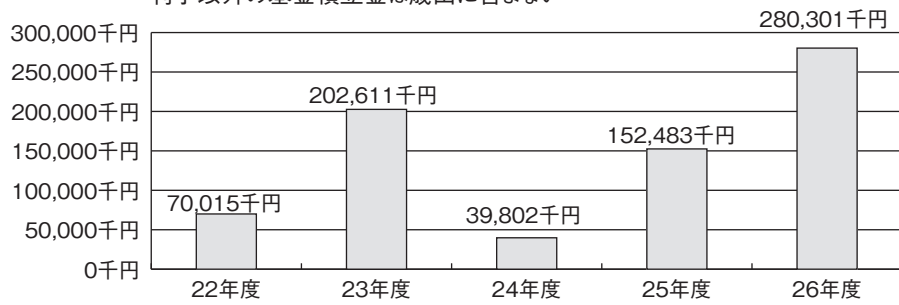
内 容	平成25年度	平成26年度
	場内整備工事	

[指 標]

指 標 名：単年度収支

指標説明：(歳入総額－歳出総額)－前年度繰越金

※利子以外の財政調整基金収入(基金繰入金)は歳入に含まず、一般会計繰出金並びに  
利子以外の基金積立金は歳出に含まない



国民健康保険事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
国民健康保険事業	34,299,008,952	9,021,513,633	0	12,952,020,810	12,325,474,509

1 国民健康保険給付事業費 22,672,086,990 円 (国保年金課) <公的医療保険の安定運営・医療費の適正な給付・助成>  
[総括]

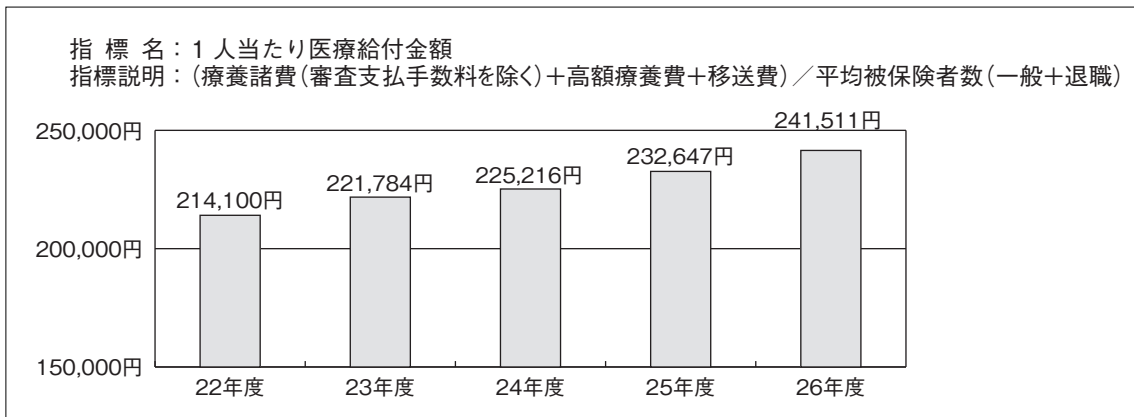
平成 26 年度は、少子化の影響等により被保険者数は減少したが、高齢化の進展、医療の高度化等により医療給付の金額は増加した。今後とも医療費の適正化に努め、国、県、国民健康保険団体連合会等関係機関と協力して適切な保険給付事業の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 保険給付費 22,672,086,990 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
医 療 給 付	1,426,618件	22,026,311,778円	1,443,889件	22,430,353,191円
出産育児一時金給付	448	187,498,540	389	162,419,820
葬 祭 費 給 付	465	23,250,000	531	26,550,000
審査支払手数料等	—	52,205,445	—	52,763,979
平均被保険者数	94,677人		92,875人	

[指 標]



2 国保税納税事務費 579,970 円 (納税課) <公的医療保険の安定運営>

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を目的として、効果的な啓発事業及び口座振替加入促進、的確迅速な収納整理、法に基づいた厳正な滞納整理に努めた。

[実績及び成果]

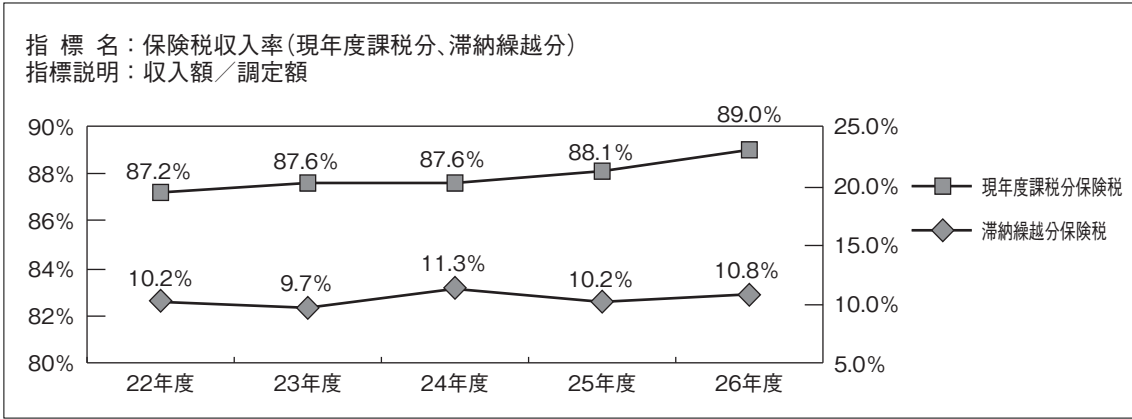
(1) 国保税収納整理事務費 462,410 円

現年度課税分保険税	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
	調 定 額	収 入 額	調 定 額	収 入 額
	9,681,242,100円	8,530,967,250円	9,587,579,900円	8,535,105,413円

(2) 国保税滞納整理事務費 117,560 円

滞納繰越分保険税	平成25年度		平成26年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	6,255,919,482円	637,465,519円	6,035,706,271円	650,792,397円

[指標]



3 収納率向上特別対策事業費

7,468,658 円 (国保年金課) < 公的医療保険の安定運営 >

[総括]

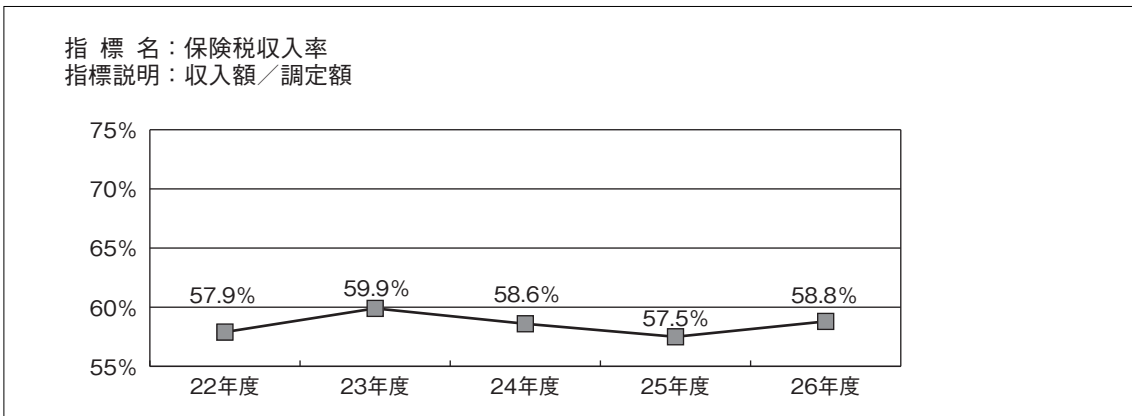
収納率向上の取組みとして、特に新規滞納者への戸別訪問を強化した。また、通常の督促・催告業務、コールセンターを活用した電話催告、口座振替の勧奨、納期の周知等を実施し、納税意識の向上、早期の納付勧奨に努めた。今後もさまざまな方向から収納率の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 収納率向上特別対策事業費 7,468,658 円

区分	平成25年度		平成26年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
現年度課税分保険税	9,681,242,100円	8,530,967,250円	9,587,579,900円	8,535,105,413円
滞納繰越分保険税	6,255,919,482	637,465,519	6,035,706,271	650,792,397
国民健康保険税	15,937,161,582	9,168,432,769	15,623,286,171	9,185,897,810

[指標]



4 特定健康診査等事業費

207,556,825 円（健康増進課）＜疾病対策の推進＞

[総括]

特定健康診査では、受診率の向上に向け、多くの集客が見込まれるイベントでの啓発活動、メタボ川柳の募集、出前講座等を行った。特定保健指導では、受講しやすい保健指導の体制に努め、個別訪問や電話による受講勧奨を行った。今後も引き続き受診者数の増加などに努め、糖尿病等の生活習慣病予防に向けた保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 特定健康診査事業費 205,724,481 円

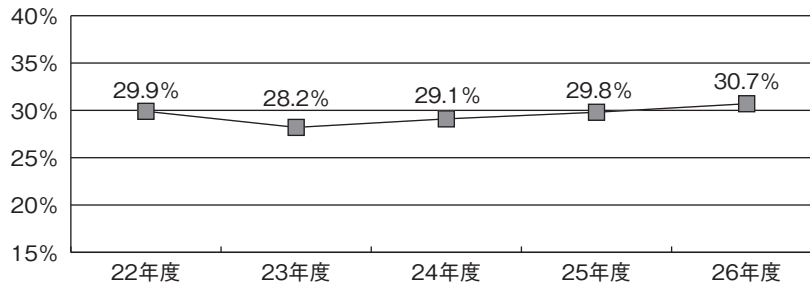
特定健康診査	平成25年度		平成26年度	
	受診券発送者数	受診者数	受診券発送者数	受診者数
	65,659人	19,551人	65,715人	20,155人

(2) 特定保健指導事業費 1,832,344 円

区分		平成25年度	平成26年度
初回面接	動機付け支援	204人	214人
利用者数	積極的支援	53	37

[指標]

指標名：特定健康診査受診率  
 指標説明：受診者数／受診券発送者数



総合動植物公園事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
総合動植物公園事業 <総合動植物公園の整備充実>	1,569,213,477	30,400,000	221,000,000	32,363,184	1,285,450,293

1 総合動植物公園管理運営事業費 777,433,772 円 (動植物公園)

[総括]

レストラン、売店をリフレッシュオープンするとともに、ナイトガーデン開催期間の拡大など従来イベントの魅力を高め、より一層の来園者サービス向上を図った。また、平成26年7月には市民・来園者の皆さまへの日頃の感謝の気持ちを込めて開園60周年記念ファン感謝デーを開催するとともに、記念切手の発行や開園からの歴史を振り返る写真展を行うなど本園の魅力PRに努めた。

年間入園者数については、10月に2度の台風接近や冬の寒さによる減少があったものの、9月に開催したオータムナイトガーデンの効果により最終的には前年度並となった。一方、遊具利用者数については、1日乗り放題券の導入や小人料金の新設により大幅な増加となった。

今後も効果的なプロモーション活動の展開やリニューアル事業の実施により100万人プロジェクトを積極的に推進していく。

[実績及び成果]

[動植物公園入園状況]

区 分	平成25年度	平成26年度	比 較
開 園 日 数	310日	312日	0.6%
入 園 者 数	延 682,461人	延 678,537人	△ 0.6
動 物 の 展 示	147種	140種	△ 4.8
	931点	917点	△ 1.5
植 物 の 展 示	2,493種	2,556種	2.5
遊 具 設 置 数	12機	13機	8.3
遊 具 利 用 者 数	延 518,736人	延 958,070人	84.7

[施設整備]

内 容	平成25年度	平成26年度
	なかよし広場公園施設及び遊具更新工事 キリン舎暖房設備設置工事 駐車場整備工事	ゴマファザラシ舎整備工事 洋式トイレ整備工事 駐車場整備工事

- (1) 動物園等管理運営事業費 127,224,599 円
- (2) 施設管理事業費 443,938,124 円
- (3) 施設営繕事業費 169,824,093 円
- (4) イベント企画運営事業費 36,446,956 円

(ア) イベント開催費

内 容	平成25年度	平成26年度
	ゴールデンウィークイベント(25.4.27~5.6・10日間) サマーイベント(25.7.21~8.31・42日間) ナイトガーデン(25.8.13~8.18・6日間連続開催)  秋のイベント(25.11.2~12.8・37日間) 新春イベント(26.1.2~1.5, 12, 19, 26・7日間) 春のイベント(26.3.1~3.30・30日間)	ゴールデンウィークイベント(26.4.26~5.6・11日間) サマーイベント(26.7.26~8.31・37日間) ナイトガーデン サマー(26.8.11~8.17・7日間連続開催) オータム(26.9.5~9.7, 9.12~9.15・7日間) 秋のイベント(26.10.25~11.30・37日間) 新春イベント(27.1.2~1.4, 11, 12, 18・6日間) 春のイベント(27.3.21, 22, 26, 28, 29・5日間)

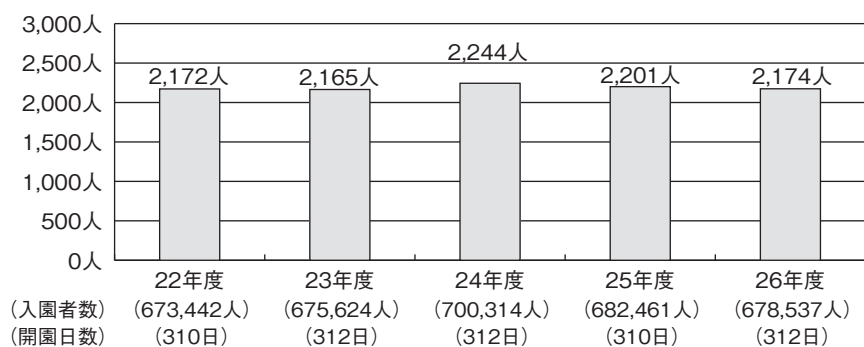
(イ) シティプロモーション事業費

	平成25年度	平成26年度
内 容	<p>鉄道を利用した広域に向けたPR</p> <p>JR品川駅中央改札内大型ビジョン広告 (25.8.1～8.31・31日間)</p> <p>J・ADビジョン(65インチ8面) への30秒コマーシャル放映</p> <p>名古屋市営地下鉄中吊広告 (25.8.10～8.16・7日間)</p> <p>地下鉄全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出</p> <p>JR東海道本線中吊広告 (25.8.10～8.16・7日間)</p> <p>東海道本線(米原～熱海)の普通、 快速全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出(静岡方面は 25.8.9～8.15・7日間)</p> <p>JR飯田線中吊広告 (25.8.10～8.16・7日間)</p> <p>飯田線全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出</p> <p>若年層を対象としたラジオCMの拡大 ZIP-FMでのラジオCM(20秒)放送 (25.7.29～8.10、25.11.5～11.15の間、計 39回)</p> <p>サービスエリアでのマイカー利用者へ のPR</p> <p>東名高速道路浜名湖サービスエリアで のポスター広告(B0版、B2版)掲出 (25.8.1～8.31・31日間)</p> <p>サービスエリアガイドへの広告掲載 (25.7.10発行)</p> <p>セグウェイガイドツアーの実施(25.6.8～)</p> <p>ナイトガーデンの拡充(開催エリア拡大等) (25.8.13～8.18・6日間連続開催)</p> <p>有料エサやり体験の実施(25.10.12～)</p>	<p>鉄道を利用した広域に向けたPR</p> <p>名古屋市営地下鉄中吊広告 (26.8.11～8.17・7日間)</p> <p>地下鉄全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出</p> <p>JR東海道本線中吊広告 (26.8.11～8.17・7日間)</p> <p>東海道本線(米原～熱海)の普通、 快速全車両への中吊ポスター(B3 ワイド版)掲出</p> <p>JR飯田線中吊広告 (26.8.11～8.17・7日間)</p> <p>飯田線全車両への中吊ポスター (B3ワイド版)掲出</p> <p>若年層を対象としたラジオCM ZIP-FMでのラジオCM(20秒)放送 (26.7.22～7.26、8.4～8.10の間、計23 回)</p> <p>サービスエリアでのマイカー利用者へ のPR</p> <p>新東名高速道路サービスエリアでのデ ジタルサイネージ映像配信(7か所)</p> <p>リーフレットスタンド設置(3か所) (26.8.1～8.31・31日間)</p> <p>東名高速道路浜名湖サービスエリアで のポスター広告(B0版、B2版)掲出 (26.8.1～8.31・31日間)</p> <p>サービスエリアガイドへの広告掲載 (26.7.1発行)</p> <p>セグウェイガイドツアーの拡大 定員拡大3名→6名(26.5.24～)</p> <p>定員拡大6名→8名(27.3.8～)</p> <p>開園60周年記念ファン感謝デー開催 (26.7.26～7.27・2日間)</p> <p>ナイトガーデンの拡充(開催時期・期間の拡大) サマー(26.8.11～8.17・7日間連続開催)</p> <p>オータム(26.9.5～9.7、9.12～9.15・7日間)</p> <p>ウォーキングイベント新規開催(27.3.15)</p>



[指 標]

指 標 名：総合動植物公園 1 日当たりの入園者数  
 指標説明：入園者数／開園日数



2 総合動植物公園リニューアル事業費 187,683,480 円（動植物公園）

[総 括]

アジアゾウ舎屋内展示場の実施設計を行うとともに、ジェットコースターの更新等を実施し遊園地の魅力アップに努めた。

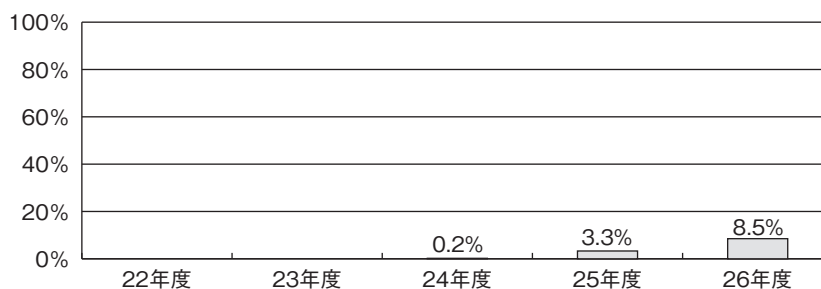
[実績及び成果]

(1) 総合動植物公園リニューアル事業費 187,683,480 円

内 容	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度
	アジアゾウ舎・放飼場基本設計 アジアゾウ放飼場実施設計 オランウータン舎実施設計 マンドリル舎・リスザル舎・バタスザル舎実施設計 主園路舗装工事	アジアゾウ舎屋内展示場実施設計 ジェットコースターの更新 新規遊具施設(ハトルファイアー)の整備

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園リニューアル事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成24年度～32年度)



## 公共駐車場事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公共駐車場事業 ＜生活道路の整備＞	188,363,666	0	0	727,897	187,635,769

### 1 公共駐車場管理運営事業費 78,781,920円 (土木管理課)

[総括]

中心市街地における駐車環境を整えることで、路上駐車解消や歩行者の交通安全確保を図っている。平成26年度は、利便性の向上及び利用者の拡大のため、前年度より引き続き歩行者天国開催期間中の駐車料金値下げ、穂の国とよはし芸術劇場プラットと連携した割引を行ったほか、駅前第二駐車場の営業時間を延長、松葉公園地下駐車場の営業時間を24時間営業に変更し、料金の打切り制度も導入した。今後も安全で快適な駐車場をめざし、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営を図っていく。

[実績及び成果]

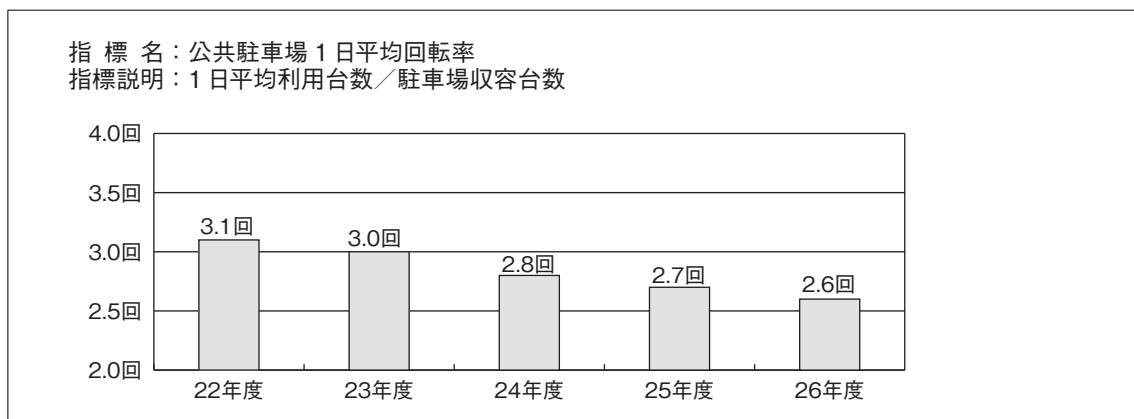
#### (1) 公共駐車場管理運営事業費 78,781,920円

区 分	平成25年度	平成26年度
施設管理費	9,121,606円	9,303,920円
指定管理料	103,290,000	66,832,000
施設整備費	5,880,000	2,646,000

[利用状況]

区 分	平成25年度			平成26年度		
	年間 利用台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 駐車時間	年間 利用台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 駐車時間
駅前第1公共駐車場	195,312台	535台	81分	181,441台	497台	73分
駅前第2公共駐車場	236,465	648	103	229,476	629	96
松葉公園地下駐車場	66,609	182	67	70,505	193	66

[指 標]



地域下水道事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
地 域 下 水 道 事 業 <下水道整備と浸水対策の推進>	1,314,330,043	258,045,145	205,200,000	53,321,444	797,763,454

1 農業集落排水施設建設事業費 391,999,956 円 (下水道整備課)

[総括]

平成20年度に事業着手した高山地区整備事業において、26年度は処理場建設及び管渠布設等を実施し、供用区域を拡大した。排水戸数447戸、排水人口1,184人、排水面積55.07haで整備事業の進捗率は86.1%となった。今後も国庫補助金等の収入確保とともに、工事コストの縮減に努めて、計画的な建設を進めていく。

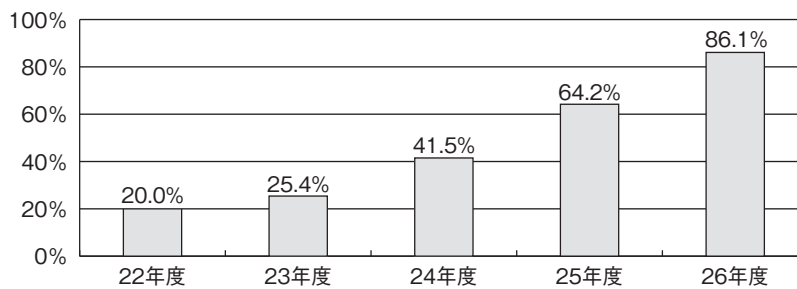
[実績及び成果]

(1) 高山地区整備事業費 391,999,956 円

内 容	平成25年度	平成26年度
	処理場 建築、機械、電気、場内整備 管渠(φ150mm~φ200mm)延長1,074m 水道管移設等 一式	処理場 建築、電気、場内整備 管渠(φ75mm~φ200mm)延長4,059m 水道管移設等 一式

[指標]

指標名：高山地区整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成20年度～28年度)



## 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
母子父子寡婦福祉資金貸付事業 <ひとり親家庭等の自立支援>	34,705,318	0	0	8,603,800	26,101,518

### 1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 34,705,318 円 (こども家庭課)

#### [総括]

母子父子寡婦福祉資金貸付制度は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づいた貸付制度であり、母子福祉資金は配偶者のいない女子で現に20歳未満の児童を扶養している者等に対して、父子福祉資金は配偶者のいない男子で現に20歳未満の児童を扶養している者に対して、また、寡婦福祉資金は子が20歳以上になった、または子のいない、配偶者のない女子に対して、その経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の福祉を増進することを目的としており、貸付金の種類としては修学資金、就学支度資金、修業資金等がある。平成26年10月から制度変更により、貸付対象が父子家庭へ拡大されたが、26年度中の父子分は貸付実績はなかった。

26年度の貸付は、25年度と比較して、件数の増減はないが、金額では1,548,000円の減少となっており、昨年度と同様に減少傾向が続いている。今後も母子家庭の母等の経済的自立等を図るため、適正な貸付けを行っていく。

#### [実績及び成果]

#### (1) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 34,705,318 円

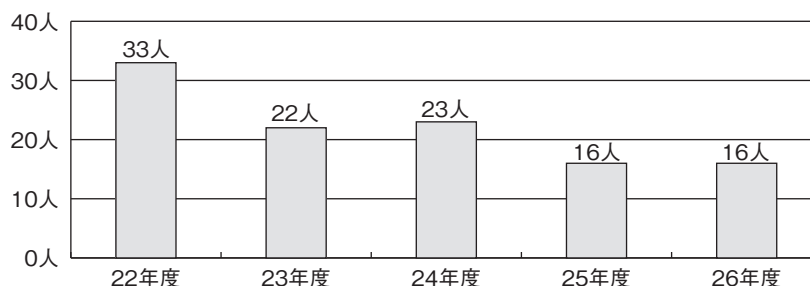
#### [貸付状況]

区 分	平成25年度	平成26年度
母子福祉資金貸付件数	16件	16件
父子福祉資金貸付件数	—	0
寡婦福祉資金貸付件数	0	0
計	16	16
母子福祉資金貸付金額	10,151,800円	8,603,800円
父子福祉資金貸付金額	—	0
寡婦福祉資金貸付金額	0	0
計	10,151,800	8,603,800

#### [指 標]

指 標 名：母子父子寡婦福祉資金貸付事業借入者数

指標説明：〃



## 介護保険特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
介 護 保 険	20,069,076,042	7,054,605,940	0	5,558,895,200	7,455,574,902

### 1 介護保険事務費 285,527,587 円 (長寿介護課) <介護保険サービスの充実>

[総括]

要介護・要支援認定の審査件数が増加する中で、適正な要介護認定業務が行えるよう、審査委員を対象とした研修を行った。また、介護保険料の徴収については、滞納者に対して年2回の催告書の発送のほか、電話催告を実施するとともに、高額滞納者の滞納整理業務を債権管理課に移管し、収納率向上に努めた。今後も介護保険制度の軸となる介護認定と介護保険料の賦課徴収を適切に行う。

[実績及び成果]

[被保険者数]

区 分		平成25年度	平成26年度	比 較
第1号被保険者	65歳以上75歳未満	46,436人	48,499人	4.4%
	75歳以上	38,653	39,961	3.4
第2号被保険者		医療保険加入者	医療保険加入者	—

[申請受付件数]

区 分		平成25年度	平成26年度	比 較
新規申請		3,377件	3,608件	6.8%
更新申請		8,800	9,186	4.4
変更申請		1,393	1,457	4.6
合計		13,570	14,251	5.0

#### (1) 介護認定事務費 266,157,893 円

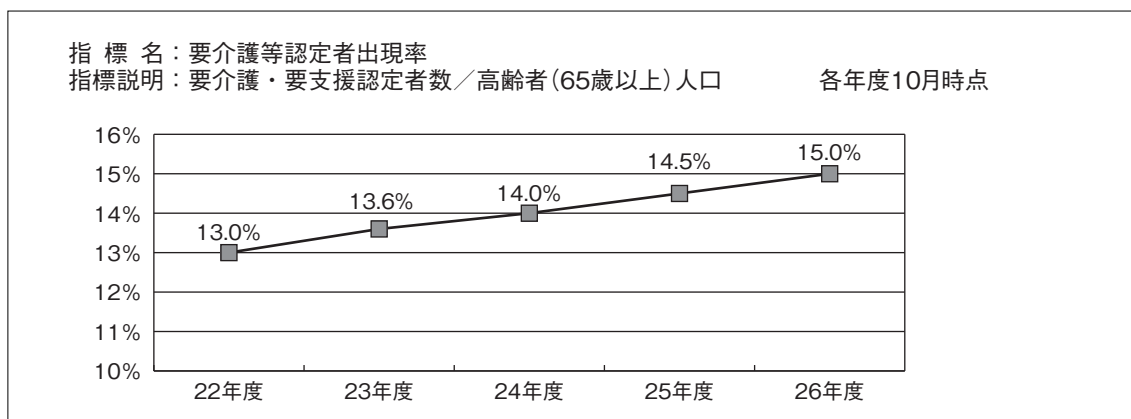
区 分		平成25年度	平成26年度	比 較
要介護等認定調査件数		13,508件	14,138件	4.7%
要介護等認定審査件数		13,454	13,943	3.6
要介護等認定状況	要支援1	1,843人	2,161人	17.3
	要支援2	1,996	2,026	1.5
	要介護1	2,069	2,268	9.6
	要介護2	2,124	2,183	2.8
	要介護3	1,553	1,613	3.9
	要介護4	1,654	1,662	0.5
	要介護5	1,280	1,255	△ 2.0
	合計	12,519	13,168	5.2

#### (2) 保険料賦課徴収事務費 18,296,074 円

区 分		平成25年度	平成26年度	比 較
保険料賦課 年間実員	特別徴収	73,282人	76,478人	4.4%
	普通徴収	11,812	11,987	1.5
督促状発送件数		14,631件	14,975件	2.4
口座振替利用者数(普通徴収)		3,944人	3,967人	0.6

#### (3) 介護保険事業所指定事務費 1,073,620 円

[指 標]



2 介護保険給付事業費

19,109,195,969 円（長寿介護課）＜介護保険サービスの充実＞

[総 括]

介護サービスの利用者は高齢者の増加とともに年々増加している状況にある。平成 26 年度の介護給付費については、介護報酬が改定されたこともあり、平成 25 年度と比較して約 10 億円の増となっている。今後も介護サービスの利用が増加すると見込まれるが、介護支援専門員の資質の向上を図るなど介護保険給付事業の適正化に努める。

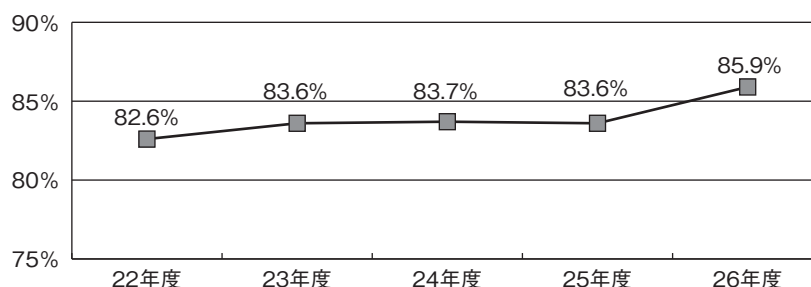
[実績及び成果]

区 分		平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	比 較
介護サービス 給付受給者数	在 宅	69,615人	74,434人	6.9%
	施 設	22,174	23,235	4.8
介護予防給付 受給者数	在 宅	32,176	36,128	12.3
特別給付受給者数		9,993	11,256	12.6
審査支払手数料		295,204件	315,784件	7.0
高額サービス費 受給者数	生活保護受給者等	2,263人	2,609人	15.3
	市民税世帯非課税者	22,866	24,297	6.3
	上記以外の者	3,824	4,427	15.8
高額医療合算サービス受給者数		1,514	1,659	9.6
特定入所者介護サービス受給者数		18,297	20,232	10.6
介護保険給付事業費		18,127,157,133円	19,109,195,969円	5.4

- (1) 介護サービス給付事業費 16,759,216,321 円
- (2) 介護予防給付事業費 1,312,949,524 円
- (3) 特別給付事業費 91,345,658 円
- (4) 高額サービス事業費 302,701,274 円
- (5) 高額医療合算サービス事業費 43,003,537 円
- (6) 特定入所者介護サービス事業費 599,979,655 円

[指 標]

指 標 名：介護サービス利用率  
 指標説明：月平均サービス利用者数／月平均要介護・要支援認定者数



3 介護予防事業費 42,770,995 円（長寿介護課）＜高齢者の介護予防・健康づくりの推進＞

[総 括]

二次予防事業対象者に対しては、通所型又は訪問型の介護予防サービスを提供し、一般の高齢者に対しては、介護予防に関する知識の普及とともに、地域における自主的な認知症予防活動の支援を行った。今後も高齢者が健康に関心を持ち、介護予防や健康づくりへの参加を促す普及啓発事業や介護予防事業を推進する。

[実績及び成果]

(1) 通所型介護予防事業費 20,709,980 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
二次予防事業対象者	実人員	102人	実人員	113人
通所介護事業委託料	延人員	3,707	延人員	3,617

(2) 訪問型介護予防事業費 5,762,605 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
二次予防事業対象者	実人員	35人	実人員	37人
自立支援員派遣事業委託料	派遣回数	1,373回	派遣回数	1,504回
給食サービス事業費	実人員	36人	実人員	40人
	配食数	2,836食	配食数	2,460食

(3) 介護予防評価事業費 8,590,707 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
二次予防事業対象者	基本チェックリスト回収	20,028件	基本チェックリスト回収	19,184件
把握事業費	訪問件数	6,026	訪問件数	5,524

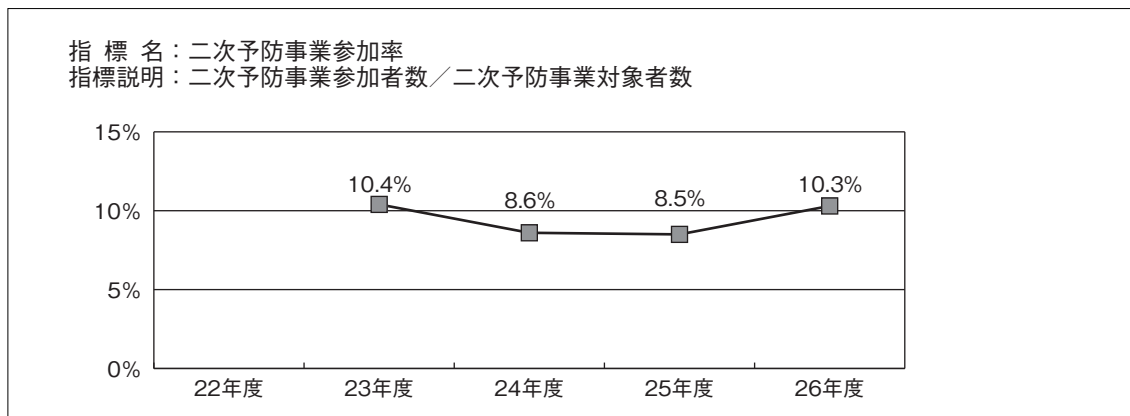
(4) 介護予防普及啓発事業費 6,313,932 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
二次予防教室	実施回数	15回	実施回数	15回
	延人員	2,284人	延人員	2,245人

(5) 地域介護予防活動支援事業費 1,393,771 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
みんなで認知症 予 防 活 動	実施校区数	2校区	実施校区数	2校区
	実施回数	52回	実施回数	61回
	延参加者数	698人	延参加者数	728人

[指 標]



※指標の見直しにより、平成 23 年度以降から掲載

4 包括的支援事業費 276,531,769 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

[総 括]

高齢者総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、総合相談、二次予防事業対象者への介護予防ケアマネジメント、地域団体や関係機関との連携による高齢者の支援を行った。今後も地域包括支援センターは、地域の高齢者支援の拠点として、保健師・社会福祉士・主任ケアマネージャーの3職種が専門知識や技能を相互に活かし、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 270,424,400 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
地域包括支援センター 運 営 事 業 費	委託先	18施設	委託先	18施設
	介護予防ケアプラン作成	690件	介護予防ケアプラン作成	726件

(2) 総合相談支援事業費 1,123,683 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
高 齢 者 虐 待 防 止 ネットワーク運営委員会	委託先	1施設	委託先	1施設
	実施回数	2回	実施回数	2回

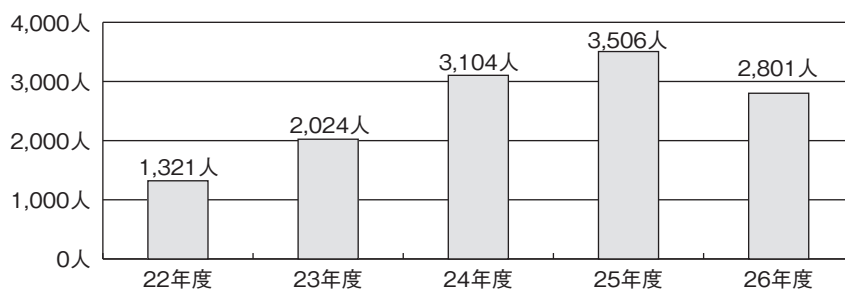
(3) 地域包括ケア推進事業費 4,983,686 円

区 分	平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
高齢者支え合い活動	利用件数	7件	利用件数	41件



[指 標]

指 標 名：二次予防事業対象者把握事業訪問調査実施者数  
 指標説明：地域包括支援センターが二次予防事業対象者に訪問し、面談した人数



5 家族介護支援事業費

11,495,775 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

[総 括]

要介護認定者を在宅で介護する家族を支援するため、介護用品や慰労金の支給、認知症介護家族支援講座の開催等により精神的・経済的負担を軽減した。今後も事業の周知とともにサービスの利用促進を図る。

[実績及び成果]

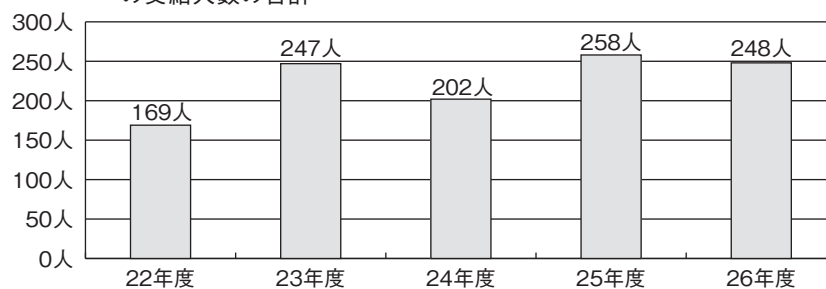
(1) 家族介護支援事業費

11,495,775 円

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度
家族介護用品の支給	162人	155人
認知症介護家族の支援	講座参加者数 93	講座参加者数 92
家族介護慰労金の支給	3	1

[指 標]

指 標 名：家族介護支援事業利用者数  
 指標説明：介護家族用品の支給人数、認知症介護家族支援講座の参加人数、家族介護慰労金の支給人数の合計



※指標の見直しにより、平成 23 年度より認知症介護家族支援講座の参加者を含む

## 6 地域自立生活支援事業費

13,813,650 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

〔総括〕

要介護・要支援認定者をはじめとした支援を必要とする高齢者が、地域において安心して生活ができるよう、日常生活を支援するサービスやシルバーハウジング入居者への生活相談、安否確認等を行った。また、認知症高齢者等の徘徊による事故を未然に防止するため、徘徊・見守りSOSネットワークによって見守り支援を行ったほか、高齢者の運動機能に関する医療と介護の情報連携により、介護サービス事業所において対象者に適切な機能訓練が提供できる体制の整備に努めた。今後も高齢者の地域における生活を維持・継続するため、サービスの利用促進を図る。

〔実績及び成果〕

## (1) 高齢者生活支援事業費 3,747,475 円

区 分	平成25年度		平成26年度	
寝具乾燥事業委託料	実世帯 延回数	134世帯 550回	実世帯 延回数	154世帯 660回
訪問理美容 サービス事業費	実世帯 延回数	20世帯 57回	実世帯 延回数	23世帯 64回
生活・介護支援 サポーター養成事業費	受講修了者数 実施会場数	35人 5会場	受講修了者数 実施会場数	35人 5会場
高齢者安心生活 サポート事業費	サポーター登録者数 支援先世帯数	83人 15世帯	サポーター登録者数 支援先世帯数	102人 14世帯
徘徊・見守りSOS ネットワーク運営事業費	事前登録者数 発見活動依頼件数	191人 14件	事前登録者数 発見活動依頼件数	263人 20件

## (2) 生活援助員派遣事業費 8,924,276 円

区 分	平成25年度	平成26年度
対 象 世 帯	66世帯	66世帯

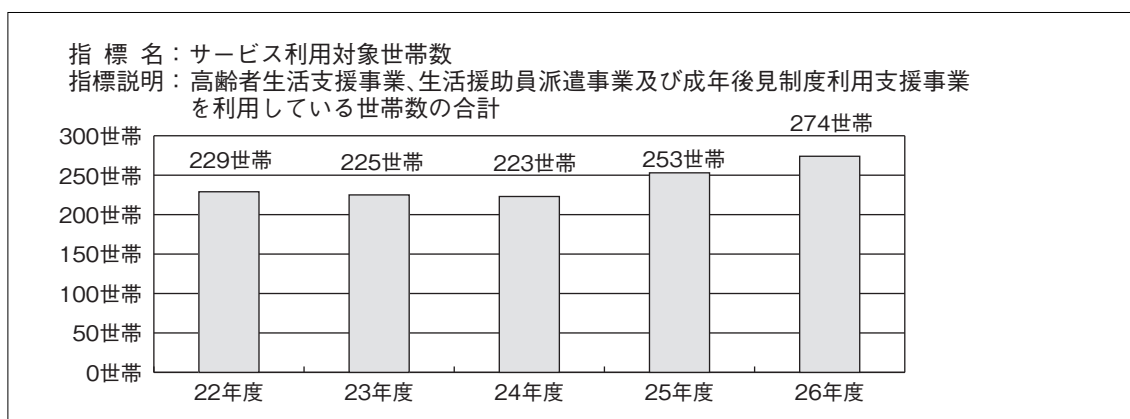
## (3) 成年後見制度利用支援事業費 13,484 円

区 分	平成25年度	平成26年度
審判申立件数	7件	6件
報酬助成件数	2	3

## (4) 運動機能向上事業費 1,128,415 円

区 分	平成25年度	平成26年度
情報連携ファイル配布数	803冊	861冊

[指標]



7 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費 7,608,077 円（長寿介護課）＜高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進＞

[総括]

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、各種スポーツの大会開催や振興、シニアフェスティバル開催、生きがいづくりの事業委託を行い、高齢者の健康保持や社会参加の推進を図った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるように、高齢者のニーズに合った事業を実施し、参加の促進を図る。

[実績及び成果]

(1) シルバースポーツ大会開催事業費 824,113 円

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度
参 加 人 員	400人	300人

(2) シニアフェスティバル開催事業費 255,752 円

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度
参 加 人 員	400人	400人

(3) シニアスポーツ振興事業費 687,960 円

区 分	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度
参 加 人 員	2,667人	2,683人

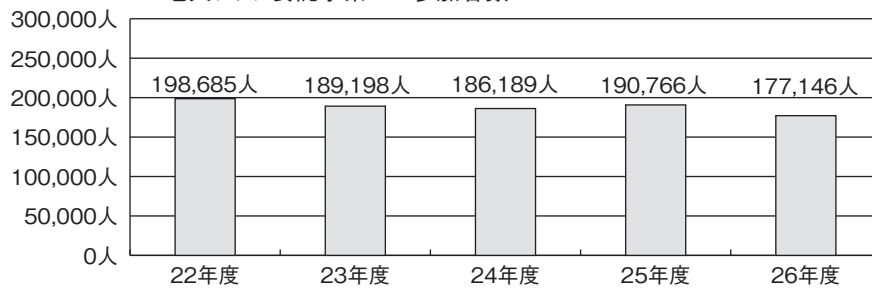
(4) 老人クラブ委託事業費 5,840,252 円

内 容		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
健康で生きがいのある まちづくり推進事業費	清 掃 奉 仕	実施団体	64団体	実施団体	60団体
	趣味の作品展開催	参加作品	261作品	参加作品	222作品
趣 味 の 教 室 開 催 事 業 費	囲碁・将棋大会開催	参加人員	106人	参加人員	76人
	趣味の教室開催	215教室	延10,702回	215教室	延 9,965回
		参加人員	延173,682人	参加人員	延160,270人

[指 標]

指 標 名：高齢者の生きがいと健康づくり推進事業参加者数

指標説明：シルバースポーツ大会、シニアフェスティバル、シニアスポーツ振興事業及び  
老人クラブ委託事業への参加者数



※指標の見直しにより、平成 26 年度より参加者の把握方法変更

## 後期高齢者医療特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
後期高齢者医療 ＜公的医療保険の安定運営・疾病対策の推進＞	6,721,951,136	0	0	234,844,815	6,487,106,321

### 1 後期高齢者医療事務費 150,936,769 円（国保年金課・健康増進課）

#### [総括]

保険料未納者への滞納整理を強化し、催告や納付相談等を行って接触の機会を増やすとともに、必要に応じて滞納処分を行い収納率の維持に努めた。健康診査事業では、特定健康診査に合わせてイベント等啓発活動を実施し、健康診査の受診率の向上を図った。

#### [実績及び成果]

#### (1) 窓口事務費 39,252,418 円

被 保 険 者 数	平成25年度	平成26年度	比 較
		40,479人	41,787人

※豊橋市が後期高齢者医療被保険者証の引き渡しをしている数

#### (2) 徴収事務費 10,252,243 円

区 分		平成25年度	平成26年度	比 較
保険料徴収対象 年間実員	特別徴収	29,861人	30,641人	2.6%
	普通徴収	10,618	11,146	5.0
督促状発送件数		5,033件	5,012件	△ 0.4
口座振替利用者数（普通徴収）		6,057人	6,384人	5.4

#### (3) 健康診査事務費 101,432,108 円

区 分		平成25年度	平成26年度	比 較
対 象 者 数		39,352人	40,313人	2.4%
受 診 者 数		9,216	9,719	5.5

#### [指 標]

指 標 名：被保険者1人当たりの月受診件数  
指 標 説 明：月平均受診件数／月平均被保険者数

